



明るい裾野



岩井よしえ Tel/Fax955-7340 深良 2706-2
(ブログ、ツイッター、YouTube) 岩井よしえ
yosie-820aug@purple.plala.or.jp

岡本かずえ Tel/Fax992-5174 茶畑 854-3E101
(ブログ、ツイッター、YouTube) 岡本かずえ
peace_love_cabird@yahoo.co.jp

弱いひと 困っているひとの味方—直線の共産党

困ったことは岡本かずえ、岩井よしえのなんでも相談へ

65歳以上の介護保険料 基準月額で460円値上げに

本人非課税の第1段階から第5段階の方は

所得段階	対象となる方	保 険 料		
		保険料率	月額	年額
第1段階	生活保護受給者、老年福祉年金受給者、または世帯全員が住民税非課税でかつ本人の年金収入が80万円以下の人	0.500	2,450円	29,400円
第2段階	世帯全員が住民税非課税で、前年の合計所得金額と前年の課税年金収入額の合計が120万円以下の人	0.625	3,062円	36,750円
第3段階	世帯全員が住民税非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が年間120万円を超える方	0.750	3,675円	44,100円
第4段階	本人が住民税非課税で世帯の中に住民税課税者がいる方で、本人の課税年金収入と合計所得金額の合計が年間80万円以下の方	0.875	4,287円	51,450円
第5段階 (基準)	本人が住民税非課税で世帯の中に住民税課税者がいる方で、本人の課税年金収入と合計所得金額の合計が年間80万円を超える方	1.000	4,900円	58,800円

本人課税の第6段階から第11段階の方は

第6段階	本人が住民税課税で合計所得金額が120万円未満の人	1.125	5,512円	66,150円
第7段階	本人が住民税課税で合計所得金額が190万円未満の人	1.250	6,125円	73,500円
第8段階	本人が住民税課税で合計所得金額が290万円未満の人	1.500	7,350円	88,200円
第9段階	本人が住民税課税で合計所得金額が500万円未満の人	1.625	7,962円	95,550円
第10段階	本人が住民税課税で合計所得金額が700万円未満の人	1.750	8,575円	102,900円
第11段階	本人が住民税課税で合計所得金額が700万円以上の人	1.875	9,187円	110,250円

【第5期計画から第6期計画の月額基準保険料の推移】

第5期保険料月額	→	第6期保険料月額	増減率
4,440円		4,900円	10.4%



消費税も介護保険料も上がるでは私は困る

3月議会一般質問と答弁

岡本かずえ議員の一般質問

『貧困の連鎖』を断ち切る支援事業を

今年の4月1日から『生活困窮者自立支援法』が施行されました。この生活困窮者支援制度の運用を通して、生活困窮者がどうして増大したのかの原因や社会的な状況を明らかにしていくこと、そして生活困窮者を生み出さない社会になっていくことが今一番大事なことです。



質問 1

生活困窮者自立支援法が本年4月1日から施行され、必須事業として自立相談支援事業と住居確保給付金の支給が実施される。これを機に生活困窮者を真に支援できる仕組みをつくる必要がある。裾野市の相談支援体制を伺う。

答弁 1

社会福祉課に相談窓口を設置する。市民相談支援員1名、就労支援員1名の2名が担当する。就労支援員は生活保護受給者対応も兼務するので、実質は1名の増員となる。

質問 2

任意事業である就労準備支援事業、一時生活支援事業、学習支援事業と、必須事業である自立相談支援事業が連携することで、生活困窮者を真に支援できる仕組みになるのではないかと。

答弁 2

まずは現体制で対応ができることから始め、対象者や支援内容等を見ながら、次年度以降に事業実施について検討していきたい。27年度に実施しない任意事業について、需要がある場合はより専門的な相談員の増加や、事業者への委託を検討する必要がある。

質問 3

住民に最も身近な行政窓口である社会福祉課と他部署の連携はとても重要。連携強化されるか。

答弁 3

市では専門的な分野の相談窓口、社協に委託の『なんでも相談』などさまざまな場所に相談窓口がある。生活の立て直しが必要と職員や相談員が判断した場合には連絡をもらう。各部署との連携は重要と認識している。



岩井よしえ議員の一般質問

3歳児幼稚園入園抽選問題 早期解決と 子育て世代の望む応援を

裾野市では平成 13 年度から公立幼稚園への3歳児入園が本格実施されたそうです。しかし、10年以上にわたり富岡第2幼稚園、須山幼稚園をのぞく4園で抽選が行われて来ています。希望する全ての子どもたちが入園出来ない状態が長く続いていたこととなります。12月議会でも子ども・子育て新制度について質問をいたしました。3歳児抽選を経験された保護者の方たちから本当に切実なお話を伺う機会があり、今回、この問題を取り上げさせていただきました。定住人口増加、少子化対策の施策の中で若い世代に裾野市へ越してきてもらい安心して子育てをしてもらう為には、この問題解決は後手に回ることのないよう、今まさに待ったなしの問題と考えます。



当日は、お母さんたちが子どもたちを連れて議会傍聴(議場には入れないため第1委員会室モニターにて傍聴)していただきました。

質問1

3歳児幼稚園入園は抽選ではなく、希望する全ての子どもが入園できることが必要と思うが見解を伺います。

答弁1

平成28年度から現在3クラスあるいずみ幼稚園をのぞく5園について5名の増加で25名の受け入れをしていく他、市立幼稚園にも定員の拡大をお願いするなど就園を希望する全ての園児受け入れを目指していく。

質問2

西幼稚園の通園範囲が広すぎ災害時のことや、入園希望が増えている等考えると、南地域に幼稚園設置が必要と考えるが見解を伺います。



答弁2

西地区以外にも通園距離の長い学区がある。新たに公立幼稚園の追加設置は考えていない。定住人口増加策の中で増加傾向にあるものも出ているが、ニーズの比率も一定ではなくなってくる。施設整備を伴う施策としては十分な検討を要するものと考えている。

質問3

ニーズ調査の結果からも公立幼稚園・保育園への入園希望が多く、公立・私立の選択肢をなくすべきではないと考えますが、見解を伺います。

答弁3

公立幼稚園の取り組みを多くの方に評価していただいていることに感謝している。子育てを応援する裾野市を目指すので、気持ちをかなえていく事は大切だという風を目指していく。公私立、市にある施設をフル稼働させて市民ニーズにしっかり答えていけるよう制度も研究してまいりたい。

この春 出会った 見つけた 素敵な言葉

夜、新婦人新聞の『読者がつくるページ』に目を引く記事がありました。書いていたのが、古くからの友人。お孫さんの卒業式での校長先生の言葉。いいお話です

小6の孫の卒業式に列席しました。そのとき校

卒業式で
静岡・沼津市
板垣和子



長が卒業生に「日本は先の太平洋戦争でたくさん日本人が犠牲になった。戦後70年の今年、日本は平和です。18歳になって投票するときにくるかもしれないみなさん。社会をしっかりみられるようになってほしい」という言葉を贈りました。九条破壊の戦争立法がつけられようとしている今、この言葉を子どもたちが平和な日本をつくるよう受け止めてほしいと切に思いました。

新婦人しんぶん

2015年4月2日(木曜日)

卒業式での校長先生の言葉

市内の小学校・中学校の卒業式。

地元の中学校の卒業生は140名、小学校は41名でした。

中学校の卒業生からの感謝のメッセージとしての、合唱(さくら 旅立ちの日)には素晴らしいものでした。



校長先生の式辞のなかで、「みなさん、今日が9年間の義務教育の最後の日です」と義務教育について話されました。

それは憲法で、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有すること、ひとしく教育を受けることが保障されていることです、と話されました。

送る言葉としてとても印象的でした。小学校は少人数のよさ発揮です。

岡本和枝のブログから

憲法記念日のつどい

第1部「じいじはおこってる」

第2部「積極平和主義」は戦争への道
講師：小森陽一さん

(東大教授、9条の会事務局長)

とき：5月3日(日)PM1：30～4：00

ところ：沼津労政会館3階ホール

協力券：大人1,000円、中・高生500円

主催：「憲法記念日市民のつどい」実行委員会